

令和8年度「大学・高専機能強化支援事業」審査結果について

令和8年9月16日

大学・高専機能強化支援事業選定委員会

「大学・高専機能強化支援事業」は、大学又は高等専門学校を設置者に対し、デジタル・グリーン等の成長分野の学部等の設置等に必要な資金に充てるための助成金を交付することにより、全国各地における当該成長分野の学部等の設置等を促進することを目的とした助成事業である。

我が国では、デジタル・グリーン等の成長分野の人材不足が顕著で、理工系の学生割合も諸外国に比べて低い状況にあり、これらの分野をけん引する高度人材の育成、輩出を担う大学及び高等専門学校の機能強化は喫緊の課題であることから、教育未来創造会議第一次提言において、大学及び高等専門学校における成長分野への学部再編等の必要性が指摘された。第一次提言の指摘に対して、新たに基金によって継続的に支援できるよう国より予算措置がなされ、学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援（支援1）及び高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援（支援2）からなる本事業を令和5年度より実施している。

令和8年度は将来の社会・産業構造変化を見据え、大規模大学を含めて、成長分野への学部等転換・重点分野の人材育成を促進するため、支援1は既存の支援メニュー（「成長分野転換枠」）を継続し、大規模大学を含め、文理横断の学部再編等を対象にした「大規模文理横断転換枠」を新設し、支援2は高専の取組を「高度情報専門人材育成枠」として継続支援するとともに、経済成長や経済安全保障上、特に重点的に人材育成に取り組む分野を支援する「重点分野支援枠」を新設し、公募を行った。本委員会において、審査要項等に沿い、申請のあった事業計画が申請要件を満たすものであるか等の審査を行い、選定候補となる大学等を決定し、機構に報告した。なお、支援2（重点分野支援枠）については、本委員会の下に審査等専門部会を設置し、本部会による書面審査の結果により面接審査の対象校を選び、面接審査を実施した。

また、本委員会の議論の中で、本事業の対象分野の人材育成は我が国の国際競争力の維持のために早急に対応すべきであること、初等中等教育段階から自然や理数への興味関心を高めていくためにも初等中等教育との連携が重要であること、さらに、自らの個性と能力を最大限に発揮できる多様性がある社会の実現のため、女性人材の育成や社会人のリスキリングによる能力向上支援などを強化すべきであるといった意見があった。

今回選定された事業計画については、本委員会委員が大学等に赴き、事業責任者等や学生との意見交換、教育現場・施設等の視察等を行い、きめ細やかにフォローアップを行っていききたい。また、近年の生成 AI の急速な発展に伴い、社会・企業における情報系の技術者のみならずあらゆる職種に対して求められる能力が急速に変化している状況において必要な取組や、企業や自治体と連携した教育体制の整備や初等中等教育段階との連携、女子学生の獲得など多様な入学者の確保に向けた取組に関して、地域の事情等も踏まえた対応を求めていきたい。

各大学等においては上記の意見等も踏まえながら、学長又は校長のリーダーシップの下、着実な事業実施をお願いしたい。あわせて、その取組や成果を広く社会に発信していくことを求めたい。

最後に、本事業を契機に我が国の高等教育機関の人材育成機能が益々発展していくことを強く期待したい。

【参考】選定スケジュール

	支援 1	
	成長分野転換枠（継続分）	
	先行審査 令和 8 年 3 月又は 6 月に 認可申請を行うもの	通常審査 左記以外
公募開始	令和 8 年 1 月 14 日（水）	
公募締切 （先行審査）	令和 8 年 1 月 30 日（金）	—
事業選定委員会 （令和 7 年度第 7 回）	令和 8 年 2 月 26 日（木） ※選定候補の決定	—
公募締切 （通常審査）	—	令和 8 年 2 月 27 日（金）
事業選定委員会 （令和 8 年度第 2 回）	—	令和 8 年 6 月 3 日 ※選定候補の決定

	支援 1	支援 2	
	大規模文理横断転換枠	高度情報専門人材育成枠	重点分野支援枠
公募開始	令和 8 年 3 月 27 日（金）		
公募締切	令和 8 年 5 月 29 日（金）		
審査等専門部会			令和 8 年 7 月 7 日（火）
審査等専門部会 （面接審査）			令和 8 年 7 月 22 日（水）
事業選定委員会 （令和 8 年度第 3 回）	令和 8 年 8 月 4 日（火） ※選定候補の決定		